

公共建築賞・
優秀賞
北海道地区

夕張市拠点複合施設 りすた



施設外観(© 佐々木育弥)

所在地	北海道夕張市南清水沢 4-48-12
敷地面積 (m ²)	8,180
建築面積 (m ²)	1,959
延べ面積 (m ²)	1,700
構造／階数	S造／地上 1 階
事業者	夕張市
施設管理者	夕張市
設計者	(株) アトリエブंक、(株) 山脇克彦建築構造設計、(株) 総合設備計画札幌事務所、北海道大学大学院工学研究院 都市地域デザイン学瀬戸口研究室

2007年財政破綻後の初の大規模公共施設として「夕張再生の象徴」となる都市拠点をつくる試みで、多世代を交えたワークショップから拾い上げた小さなアクティビティのアイデアを集積し複合することで、新しい価値を生み出している。

「まちと自然を繋ぐ建築」をコンセプトに、敷地北側の小高い森と祠を活かすように、南に間口を広げた台形平面に、森に向かってやや傾斜した大きな屋根を載せた構成とし、南北面は全面ガラス張りとするこで、南面はバスターミナルからの市民をおおらかに迎え入れるとともに、北面は森からの光や風を建物内部に取り込んでいる。

道産カラマツ合板のルーバーで全面を覆った天井の下に、300φ以下の鉄骨柱を軽快に配するとともに、入れ子状の小架構やガラススクリーンにより多目的ホールを防音に留意しつつ組み込むなど各機能を緩やかに仕切ることで、開放的で一体感のある空間を実現し、多くの機能が混乱なくスムーズに連結している。

これらにより、子育て世代や働き世代、高齢者、中高生な

施工者	ビーエス三菱・坂本建設工業特定建設工事共同企業体 (ビーエス・コンストラクション (株) 札幌支店、坂本建設工業 (株))、末廣屋・大晃・夕電・駒井特定建設工事共同企業体 (末廣屋電機 (株)、大晃電気工業 (株)、(株) 夕電、駒井電気工業 (株))、日管・北宝・泉特定建設工事共同企業体 (日管建設 (株)、北宝建設 (株)、(株) 泉工務店)
竣工年月	2019 年 12 月
総工事費	1,393 百万円

どの多様な世代が気軽に立ち寄れる場所として浸透しており、多世代交流の促進や地域活動の活性化に貢献している。

施設の清潔さと開放感が称賛され、子供たちも楽しんで利用できる施設として評価され、用事がなくても訪れたいとなるといった感想が寄せられており、利用者からも事業者からも施設管理や利用に対して高い評価を得ている。

外壁や屋根は全て廉価な高耐久ガルバリウム鋼板による外断熱工法で包み込むことで省メンテナンスを徹底し、内部の設備機器や配管配線を全て露出とすることで保守点検や設備更新を容易にするとともに、内装材には地元で工場のある木毛セメント板などの安価な工業製品を採用することで、将来の改修工事の負担を軽減している。

多世代の市民が立ち寄り交流できる小さなまちのような建築が実現しており、急激な人口減少や高齢化が進む地方において、地域に賑わいをもたらす公共建築づくりのモデルケースとして推薦するものである。

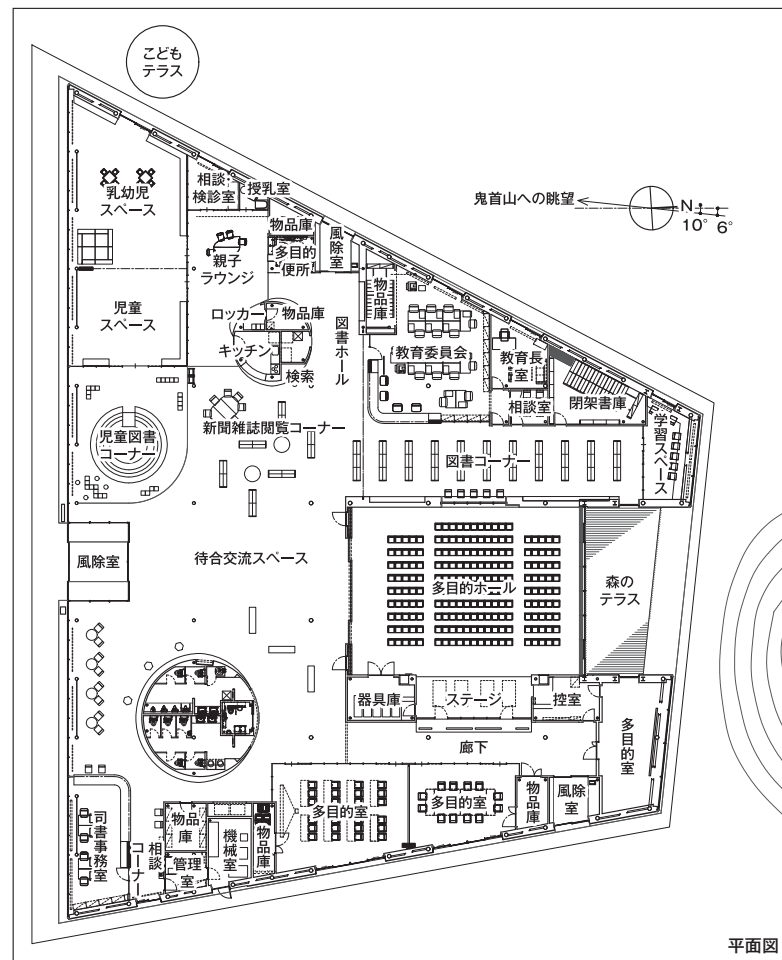
(北海道地区審査委員会 角幸博審査委員長評)



施設内観(© 佐々木育弥)



南側正面全景。中高生の通学路となる伸びやかなアプローチ。背後には鎮守の森の木々が鬱蒼と茂る



平面図



天井が高く開放的で静かな学習室



こども図書コーナー



展示ギャラリー